

2年生 国際理解講演会（国際理解コース対象）

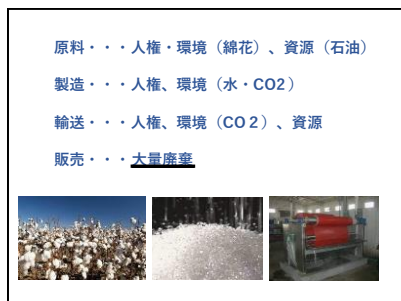


令和3年11月11日（木）

一宮市に本店をもつ豊島（株）品質管理室 業務管理課、栗田久里子さんの講演を聴きました。栗田さんは当日、名古屋本社からお越しになりましたが、前日までは東京本社2泊3日の出張でした。一昨年の今頃は、中国のチンタオ（青島）、さらにベトナムにそれぞれ毎月の半分ぐらいいは出張するなど、まさにグローバルに活躍されていました。しかし新型コロナウイルス感染症の影響でここ2年ほど海外出張がゼロに。その代わりに、現地駐在の日本人または現地の方とオンラインでかなり頻繁に連絡を取り合っているとのこと。今回の講演では、仕事上様々な国籍やバックグラウンドの人に出会い、その人たちと交渉していく中で大切にしなければならないものを、本校の生徒たちに伝えてくださいました。また、家庭では2児の母でもあり、このように自分の仕事ができるのは家族の支えがあればこそと、周りへの感謝もお話しされました。講演の流れは以下の通りです。

- 1 5秒で自己紹介ができるように ⇒常にその準備をして、印象に残る自己紹介をする
- 2 見た目を磨く ⇒背筋を伸ばした姿勢、キリッ・ニコツとした顔、清潔で、TPOに合わせた服装
- 3 コミュニケーション力を磨く ⇒一生懸命聞いてくれる人には好感をもつもの。聞き上手（相手の目を見る、身体を向ける、相槌をうつ）になる。
- 4 魅力的な人になる ⇒魅力的な言葉で話ができる（多くの本を読む）、印象の良い言葉を使う（母語の力は大切）、日本の魅力を理解する。

この話と並行して栗田さんは、ファッション業界では年間29億着を作っているが、そのうち15億着は廃棄しているという現実にもふれ、供給過多の状態をどうしていくか提案もされました。



後半には、生徒たちの成功体験や失敗体験の内容、そしてそのときの心情についてチャートに記入させ、それぞれの体験で得たものを糧にモチベーションをもち続けることの重要性を説かれました。

栗田さんは、中国語の通訳資格だけでなく、繊維・ファッション業界で仕事をしていることもあり、その人に似合う色の診断ができる「ベースカラー診断士」の資格もお持ちです。生徒たちは自分のイメージカラーが何なのかなど、興味をもって聴いていました。

最後に生徒たちは、なりたい自分を想像し、そしてそれが実現できるよう、一人一人が皆の前で「決意表明」をすることで講演が終わりました。

この日の受講メモはいったん回収し、栗田さんにお届けします。その一枚一枚に栗田さんが目を通したあと、今度は栗田さんから、それぞれにメッセージを添えて生徒に返却となります。

